

この地球上で、今
毎秒、39万立方メートルのCO₂が放出され、
酸素を再生する森が、
毎秒、300平方メートルも失われ続けています。



地球にも命があります。



守ろう地球の生命線
ISO 14001エコアクション21

地球の余命が見えますか？

・・・といっても、ノストラダムスの予言のような、何やら怪し気な類い(？)の話ではありません。この地球上に生命体が存続しうる可能性・・・という風に考えると、ずいぶん現実感を持った響きを感じることでしよう。現在でも5,000種類を超える生命体がこの地球上から姿を消しつつあるのです。それらの生物や植物は、一極に環境の変化に対してはごく敏感で、ヒトのように技術で武装する事などできない生き物たちばかりです。例えば地球の温暖化を例に考えてみましょう。この夏の暑さは異常な程度で、あなたもエアコン無しではとても過ごせなかったはずですが、言ってみれば私達は、人間専用の生命維持装置にすがって生きているようなもので、その装置に守られていないと、ヒトでさえ命を失うという現実の内に居ます。例えば影響はないまでも、もしもエアコンという武装技術がなかったとしたらと考えてみてください。20世紀型の豊かさを支えてきた自慢の生産力さえ、まともな機能できたは、とても思えないはずですが、まして、自らの力によってしか命を支えられない多くの生命にとってみれば、すでに地球は限界に来ていて考えるべきでしょう。

豊かさが振出した不渡り手形

しかも、その武装が必要になるほどの環境を作り出したのは人類なのです。二酸化炭素は元素記号で表せばCO₂で、いわずと知れた炭素と酸素の結合したものです。地球上に存在する全ての元素の量は決して変わらないはずですから、いくら増えようと放出されたCO₂を何らかの方法で、元の炭素と酸素に分離させる事ができずば何ら問題はないはずですが、しかしそれができるのは、樹木を始めとした植物やわずかな珊瑚虫の類い(？)だけで、当然ながら彼等は、ひとが作り出した環境の変化に対して武装することはできません。従って再生機能を果たすどころか、自らが消滅の道を辿りつつあるのです。ヒトでさえも自分自身の武装に手一杯で、彼等の武装に手を貸すことなど、とてもできることはありません。いば人類は、身勝手な豊かさを求めて自らの能力では決して済まないCO₂という不渡り手形を無尽蔵に振り出してしまったと言えるのかも知れないのです。

不渡り手形の決済方法

手形というものは、決済を試みようとするので世に回し続けさせずば、誰も不渡りには気付かないで居られます。しかし、いずれ積み重ねた金利で破綻に向かう事は明らかです。産業革命以来繰り返し続けて来たその不渡り手形の決済に向けて、今大きく2つの試みが始まっている事をご存知でしょうか？ その一つはカーボンニュートラルという決済方法です。樹木は光合成によって二酸化炭素を取り込んで酸素を放出している事は良く知られていますが、その炭素は樹木の内に蓄積されます。やがて燃やせばまた炭素は大気中に放出される訳ですが、取り込まれた炭素の量と放出される量は同じで、安定したしくみを持っています。これがバイオモスの原理、カーボンニュートラルという考え方です。それを経済活動に置き換えると、自らの事業活動で放出したCO₂の量に見合う樹木を植え、その光合成によって、放出した炭素を固定しようと言う考え方になります。さらにもう一つは環境マネジメントという考え方です。資源効率の高い生産活動を行う事は、コスト削減という従来の価値観に添って経営体質の強化につながり、結果的にCO₂の排出削減に貢献することになるという考え方です。

地球の生命線を握っているのはだれ？

こうした考え方の下に、新しい経営体質にシフトしようとしている企業があります。国際基準であるISO14001や、環境省のエコアクション21などに適合して、環境への物理的な影響の低減に取り組んでいるだけでなく、プレンティアの森に協賛し、NPOとの協働による森づくりを主催するなど、環境再生機能の復活に貢献しようとしている企業もあるのです。でも、地球の生命線を左右するその鍵は、そうした企業が握っている訳ではなく、実はあなたが握っているのです。製品やサービスや仕事先の選択などを通じて日々(企業を選択)している、あなたの手に握られているのです。どうか「地球の命」を守る為に誠実であろうとする企業の努力を、報われない投資に終わらせまいとください。そのあなたの選択は、かつて、暮らし方によって自然と共生してきた人類の知恵の延長にあるのです。そしてその知恵は、現代人に残された地球の生命線を守る最後の手段なのかも知れないのです。



http://www.jpfnpc.co.jp/plentier/
事務所：〒430-0907 浜松市中区高針5丁目11-6 (浜松ケーブルビル内)

環境機能の再生と環境障害物質の排出削減は、環境基準に適合した企業である私達に共通の課題です。

環境への企業の取り組みの紹介のため、年4回に渡って意見広告を掲出します。 ご賛同いただける環境基準適合企業を募っています。

循環型社会を支えるグループ企業 本社：TEL053-925-1366
株式会社 リサイクルクリーン
私達は、地球にやさしい企業を目指しています。
遠鉄システムサービス 株式会社
本社工場：TEL053-595-8855 宮口工場：TEL053-582-1018 三幸工場：TEL053-430-6940
株式会社 井口ゴム工業所

浜松支店 TEL053-465-1234 http://www.chubugas.co.jp
中部ガス 株式会社
環境のリーディング・カンパニー
中村建設株式会社
ゴトと共に歩む
古澤ゴム工業株式会社

私達のISO14001は、環境再生の第一歩です。
須山建設株式会社
浜松市西区入野町15153 TEL053-449-3111
大同ばね株式会社
湖南市岡崎1211-16 TEL053-577-0752
南部電設株式会社

浜松市西区伊佐地町2790-1 TEL053-485-6207
パブリック技研株式会社
浜松市中区早甲町122-13 TEL053-464-3326
三和事務機株式会社
浜松市西区馬場3762-22 TEL053-525-0236
ソフトプレ工業株式会社

『ひとが豊かで企業が繁栄する』ということ、『地球を守る』ことにつながられる・・・はずなのです。



私達は、新しい「共生のしくみ」を提案できます。

NPO プレンティアの森・NPO法人 ISO検証審査協会・社団法人 静岡県環境資源協会